

令和5年度 長久手市立東小学校 学校教育目標

(1) 本校の教育目標

校訓「つよい子・つくる子・やさしい子」のもと、「知・徳・体」の調和のとれた心豊かな児童の育成を図る。

校訓 つよい子・つくる子・やさしい子

【めざす学校像】

- 学ぶ喜びが味わえる学校
- 様々な人々の存在や価値観を認め合える学校
- 家庭・地域社会に信頼され、地域に開かれた学校

【めざす児童像】

- 命を大切にし、体を鍛え、やり抜く児童（つよい子）
- 意欲的に学び、進んではたらく児童（つくる子）
- 仲間と協力し、自他への思いやりをもつ児童（やさしい子）

【めざす教師像】

- 教育的愛情に溢れ、使命感に燃える教師
- 自己研鑽に努め、職責を果たそうとする教師
- 適切な人権感覚をもち、人間尊重、和を大切にする心豊かな教師
- 保護者、地域の要請に応え、信頼される教師

(2) 経営方針

全職員の共通理解と協力体制のもと、教育目標の具現化を図る。

ア 「通いたくなる学校、通わせたい学校、勤めたい学校」の実現を推進する。

イ 報告・連絡・相談・確認を丁寧に行い、組織的に教育活動を進める。

ウ 職員一人一人の個性と能力を生かして、児童の良さを伸ばす。

エ 地域との連携を通して、地域との共存を目指した学校づくりを推進する。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 児童の基本的な生活習慣の育成

(ア) 人間関係づくりの基本となる「挨拶」の習慣を身に付けさせる。

(イ) 自分の良さ、他者の良さを認め、共に生きる力を身に付けさせる。

(ウ) 登下校における交通安全やマナー等の指導を通して、命を大切にする意識の高揚を図る。

(イ) 身の回りの生活環境を整えるとともに、自分の持ち物を大切にする意識をもたせる。

イ 児童の学習意欲の向上と学習習慣の育成

(ア) 学習規律の定着を図る。

(イ) 児童が自分の考えに自信をもって活動するとともに、児童同士が学び合う授業をつくる。

(ウ) 特別支援教育についての理解を深める。

ウ 児童が主体的に活動するための実践力の育成

(ア) ユネスコスクールとして、特別活動や異年齢交流活動、福祉活動等への主体的な参加を通して、感謝の気持ちや思いやりの心を育成する。「持続可能な開発目標（SDGs）」の理念を浸透させる。

(イ) 青少年赤十字加盟校として「気づき」「考え」「実行する」（＋「振り返る」）という過程を、学校教育活動の中で経験させ、主体的に学び続ける児童の育成に取り組む。

エ 児童理解と心に迫る生徒指導の推進

(ア) 生徒指導において早期発見・丁寧な初期対応・確実な見届けに努め、心に迫る指導を進める。

(イ) 児童にとって、学校が自己存在感を得られる「居場所づくり」となるように努める。

オ 地域参画型の学校づくり

総合的な学習の時間、クラブ活動等において、地域人材の積極的活用を図り、教育効果を高めると共に、伝統芸能の継承に貢献することにも重点をおく。

カ 働き方改革にむけた業務改善

会議、行事等の精選およびペーパーレス化等による作業軽減を図り、時間外勤務の在校時間の上限である「1か月45時間、1年間360時間」の遵守に努める。